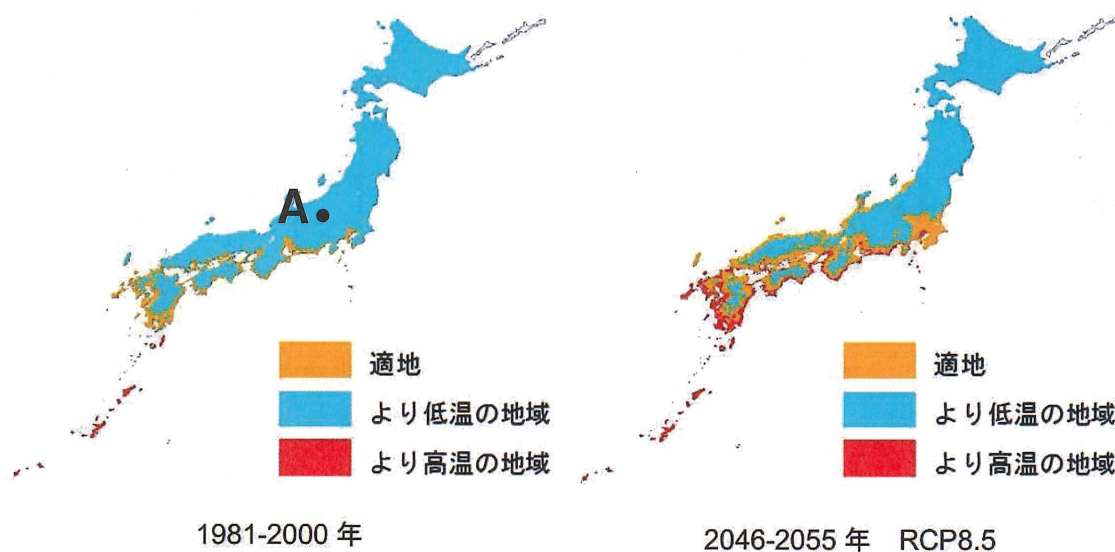


問 12 ——⑧「地球温暖化」について、日本列島は、大部分は温帯湿潤気候^{おんたいしつじゆんきこう}ですが、南北に細長い^{せま}ため、細かく見ると寒帯、亜寒帯、温帯（冷温帯・暖温帯）、亜熱帯まで幅広く分布^{はば}しています。それは、世界中の気候がこの狭い国土に散りばめられていて、世界中に原産地をもつ野菜や果実の栽培に適した場所が日本列島のどこかに存在することを意味します。今日、気候変動により日本の平均気温は少しずつ上昇^{じようしやう}して、今後もこの傾向が続くと予測されています。これに伴^{ともな}って「適地」にも変化が起こり始めているのです。

【資料4】



* RCP8.5…現在のペースで温室効果ガスの排出^{はいしゅつ}が進んだ場合

▲温州みかんの栽培適地予測

農林水産省「気候変動の影響への適応に向けた将来展望」(2019)による

植生(生育する植物)	気候帯	あたたかさの指数
ツンドラ(高山植物など)	寒帯	15以下
針葉樹林	亜寒帯	45～15
夏緑樹林(落葉広葉樹など)	冷温帯	85～45
照葉樹林(常緑広葉樹など)	暖温帯	180～85
亜熱帯多雨林(常緑広葉樹、つる性植物など)	亜熱帯	240～180

【A地点の2020年の月平均気温(°C)】

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温	－1	0	3	5	13	17	19	23	18	10	6	－1